

故郷（ふるさと）野付の自然 26



カムチャツカの旅人

写真は、トウネンというシギの仲間です。その右足に注目してください。黄色と黒のプラスチックの札のようなものがついていますね。

これは、ロシアのカムチャツカで捕獲され、その後の渡りのルートを調べる目的で、つけられた目印です。

捕獲される国ごとに、その色が違うのでどこで捕獲されたが分かるのです。このスズメほどの大きさのトウネンはカムチャツカで生れ、野付までやってきました。野付で少し休んだら、今度は、オーストラリアまで越冬のために飛ぶことになります。無事にたどり着いて欲しいですね。

北海道で2例目の記録！ ハシブトアジサシ

小型のカモメの仲間をアジサシ類と言いますが、野付半島の先端の干潟で、白っぽいアジサシを見つけました。

よく見るとクチバシが太く、一目でハシブトアジサシと分かりましたが、日本では大変記録が少なく渡来しても沖縄や九州などの日本の南のほうに出現する鳥がまさか、



北海道のしかも道東に出現するとはビックリですね。そこで、関係機関に問い合わせると、北海道では2回目の記録となるそうです。